

Subversion

補足

内容が古くなったので改訂。環境は FedoraCore3 になります。以下のサイトを参考にしました。
・satoshiabe.jp 様の [Introduction to Subversion](#)・ごった煮様の [CentOS 4.0 - subversion の導入](#)
当サイトのサーバは、「[SaikyoLine.jp](#)」様の「[さくらインターネットで Subversion](#)」を元に導入しました。さくらインターネットの FreeBSD がバージョンアップことにより、SubVersion を 1.4 系にしないと駄目みたいです。「[SaikyoLine.jp](#)」様の「[さくらインターネットで Subversion の補足](#)」を参考に 1.4 系を導入しました (subversion-1.4.3.tar.bz2、 apr-0.9.16.tar.bz2、 apr-util-0.9.15.tar.bz2)

Subversion とは？

ファイルの世代管理ソフトです。何世代も遡ってファイルを元に戻したり、別々のバージョンを作ることができます。同種のソフトに、Microsoft Visual Source Safe、Concurrent Versions System などがあります。今回は、[Subversion](#) をインストールし、xinetd 経由で接続する方法をドキュメントとして掲載します。

前提条件

- ・ FedoraCore3 (VPS 上で稼動)

Subversion のインストールと設定

1. root で以下のコマンドを実行するだけで、インストールは終わり。 # yum install subversion2. リポジトリを作成。一般ユーザで可。\$ mkdir -p /home/username/repos/examples\$ svnadmin create /home/username/repos/examples3. リポジトリの編成とソースの追加。\$ svn mkdir file://localhost/home/username/repos/examples/trunk -m "Create."\$ svn mkdir file://localhost/home/username/repos/examples/branches -m "Create."\$ svn mkdir file://localhost/home/username/repos/examples/tags -m "Create."4. xinetd 関連の設定。/etc/service 以下がなければ追加。svn 3690/tcp # Subversionsvn 3690/udp # Subversion5. root になって /etc/xinetd.conf を編集。6. Subversion 用に、/etc/xinetd.d/svn を作成。7. xinetd の起動。# /etc/rc.d/init.d/xinetd start8. /etc/xinetd.d/svn の server_args で指定したパスが、公開リポジトリになる。添付ファイルの場合、svn://hostname/ でアクセスすると、/home/username/repos/examples 以下が公開される。-i : inetd または xinetd 経由で起動する -r : 指定したディレクトリ以下をリポジトリとして公開する

-xinet.d

```
#
# Simple configuration file for xinetd
#
# Some defaults, and include /etc/xinetd.d/

defaults
{
    instances      = 60
    log_type       = SYSLOG authpriv
    log_on_success = HOST PID
    log_on_failure = HOST
    cps           = 25 30
}

includedir /etc/xinetd.d
```

-svn

```
service svn
{
    socket_type = stream
    protocol   = tcp
    user       = username
    wait       = no
    disable    = no
    server     = /usr/bin/svnserve
    server_args = -i -r /home/username/repos/examples
}
```